



令和6年度

志和池小だより

くすのき



第3号

令和6年7月22日
都城市立志和池小学校

掃除の時間に、玄関横駐車場の側溝の土をとっています。以前から、側溝に土がたまっていて、大雨の時は周辺に水がたまっていました。

実は、この作業は、子どもたちが自分たちで気付いて「よし、やろう」と決めて取り組んだそうです。

6年生がリーダーシップを発揮して、低学年の子も取り組んでいました。

もう何日もかけて取り組んでいました。運ぶ土はとても重かったらと思います。

おかげで大雨の時も駐車場は水がたまらずにすみました。

どうして、この作業をしたのか聞くと、答えはシンプルです。「溝に土がたまっていたから、話し合っしょうかなあと」

自分たちで気付き、判断し、行動できる子どもたちが育っていることをうれしく、ありがたく思いました。

自分たちで考え働く子どもたち



浮いて待て～背浮き～



全国的に水難事故が起こっています。

本校では、全学年で着衣による安全な泳ぎ方、浮き方（背浮き）を学習しました。写真は3年生。

ペットボトル等を浮き具にして上を向いて呼吸を確保して浮きます。最近のスリッパや靴は軽いので、これらも浮き具にできます。服を着ていると、その上着に空気をためることで浮きやすくなります。

背浮きは、身を守る浮き方ですが、背浮きをとおして、泳ぎながらの呼吸の仕方を身に付けられるので、泳ぎを上達させる体験にもなるのです。

夏休みにプールに行った際には試してみるといいでしょう。

肝心なのは、事故にあわないように備えること。

全国的に溺れた半数は25m以上泳げる人というデータもあります。

これは、6年生の算数の授業の様子です。

発表（説明）している子が「ぼくの今の説明、わからなかった人」と聞いています。この言葉から、わかるように説明したいという意欲が伝わってきます。また、わからないことを素直にわからないと表現できる雰囲気がいいです。このあとは、自然とグループで話し合いが始まりました。そして、自分たちの力でなんとかゴールにたどり着いたようです。

発表（説明）した子に感想を聞いてみました。

- ・みんなに伝わらなかったこともあったけど、少しは伝わった人がいたからうれしかったし、相手がちゃんと反応してくれたことがうれしかったです。今度は、ぼくからもみんなに質問しながら説明したいと思いました。

説明する力を身に付ける



1学期の御協力、ありがとうございました

保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、無事に1学期を終えられることに感謝申し上げます。

いよいよ夏休みとなりますが、子どもたちが水や交通事故等にあうことなく安全に過ごせるよう、変わらず見守りをお願いいたします。